

## “ふじのくに”士民協働事業仕分け結果（事業別個表）

事業番号	20	事業名	農業者向け制度資金
------	----	-----	-----------

### 1 基本情報

実施日／班名	10月14日 第1班	時間	15:40～16:45
担当課名	経済産業部組合金融課	事業費	453,783千円

### 2 判定結果

結 果	判定区分	県民評価者 判定内訳(人)			
県の関与必要 (見直し・縮小)	判定区分	県の関与不要	1		
		県の関与必要	見直し・縮小	14	
			現 行・拡充	13	
	判定理由	結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由（人、複数回答有）			
		サービスの水準や対象者を見直すべき			6
		事業効果の把握・検証方法や目標の設定方法を見直すべき			5
県の役割(市町、関係団体、県民等との役割分担)を見直すべき			4		
事業の効率化を図りコストを縮減すべき			3		

### 3 具体的な見直し・改善策又はその他意見

#### 【県の関与不要】

・新規参入者と既農業者を一緒にしているのか。新規就農であれば、多面的な目的を選べるようにすべき(ビジネス経営体でない)。法体制の不備(国の農政)。地元の農家の人が農地を貸しやすいように地元の若者に研修を行い、なおかつ融資の手続きを簡単にする。もうかる農業のモデルケース。農業後継者をどのように育てるのか？新規就農者の重要性、農家がサラリーマン並みの所得が得られなければ意味がない。産業としての農業をどのように育てていくのか？

#### 【県の関与必要（見直し・縮小）】

・多様化している現代にあう農業に資金を使うべき。市町に任せられる内容もあると思う。  
 ・新規農業制度資金は必要だと思う。しかしビジネス経営体まで結びつけるのは大変だと思う。すぐに結果が出る事業ではないが、融資だけでなく安定できるように指導教育が必要だと思う。  
 ・新規参入者への融資は歓迎だが、無差別に融資することには反対。サラリーマンの私から見ると、お城のような屋敷に住みながら融資を受けられるとしたら、おかしいと思う。  
 ・新規就農者を広げていく必要がある。農業はどちらかというと土作りから始まるが、離農者の代わりにすぐニューファーマーが農業をやれるのは利点です。  
 ・ニューファーマー1年チャレンジしてノウハウは得られるかもしれないけど、いつどこで天災があるかわからない。そのときの措置や手助けはあるのか？県ではなく市町それぞれの特徴があると思う。3億は多い！県の負債リスクはなくてもJA等の負担で結局「税」でまかなっているのでは？震災、天災が起きて、貸付金を返せなくなったらどうするのか。

- ・新規就農者に先 15 年以上農業を続ける意志を示した契約などして、もっと吟味して融資していくなどコスト削減を図る。
- ・新規就農者の育成は、静岡県農業生産量を保ち発展させていくためには必要なことであると思います。JA や信用協会と協力してこの事業は続けていってほしいと思います。
- ・国内で自給自足できる国づくりが大切。後継者づくり(新規就農者づくり)、魅力ある農業政策づくり。
- ・新規就農者の方ががんばれるような仕組みが作られればよいと思います(身近でないため、よく分からなかった。)
- ・認定及び貸付手続きを現状では別々に行っているのが効率が悪い。同時に行えるように改善してほしい。
- ・利子補給の融資機関について、年度ごとの入札制度にして利子の低いところを選択できるようにならないか。
- ・生産品の補償をしっかりと行う方が先ではないか。条件が現在悪すぎるから続けていく農業者、若者が少ないと思う。現在の農業者を引き継ぐ若者に希望を与えて、まず現在の農家にて再興を希望する。
- ・資金の貸付だけで農業発展が望めるのか。経営指導が必要(JAは何をやっているのか)。
- ・制度自体はよいが、利子が低く借り手に有利なので、チェック体制をきっちりしてほしい。

#### 【県の関与必要（現行・拡充）】

- ・新規に就農希望する人に対して、敷居を低くするという意味では必要な支援だと思いました。自力で操業できるような、長期的なサポート(金銭面や、人材育成など)は必要かと思います。
- ・支援に有効性が見られ、県の農業の発展のために必要。資金だけでなく人材育成、技術指導の面も強化していただきたい。そのために他事業との調整も必要。事業番号 11(「大地に学ぶ」農業体験推進事業)と連携し、就農人口(後継者育成)の増加を図っていただきたい。
- ・農業はカッコいいと思うし、興味もあり、新規就農を経済的に応援しているのはとても重要だと思う。でも、農業で生活できるのか、土地はどうするのか、休みはあるのかなど、その他精神的なサポートをJAなどと協力して行ったら安心できる。
- ・農協のあり方に問題があると思います。
- ・人件費が多くないのか？就農促進するために何を行っているのか、よく分からなかった。新規就農者を今後増やすため何をしていくのか？静岡県としてどうPRしていくのか。融資は必要だと思います。
- ・家庭菜園を広めていき、農業に対して興味を起こさせる。
- ・認定就農者はサラリーマンと同等の収入がある。一般的には非常に難しいのではないかと。新規農業者の育成は大変重要なことである。
- ・新規就農者を多くし、国内の食の安定化を少しでも高めることが必要である。
- ・現状を維持してほしい。
- ・農協には銀行としてだけでなく、営農者を支援する役割を果たすよう、指導してほしい。
- ・貸付金だけでなく、新しい農業の魅力を後継者に伝えることで、農家が増えるようお願いしたい。